



German Literature

ドイツ文学専修

ドイツ、スイス、オーストリアだけでなく中東欧に広がるドイツ語文化全体を対象とし、文学にとどまらず、思想・芸術から日常的な生活文化までを扱う専修です。

18世紀に始まり、文豪ゲーテやグリム兄弟をへて、トーマス・マンやブレヒトにいたるドイツ語文学の伝統は、カフカやフロイトなどユダヤ系の人びとの活躍によって、いっそう豊かで複雑な流れをかたちづくってきました。こうした流れは、広い意味での社会的現象の一つですから、各時代や地域の政治や経済、宗教や慣習への目配りなしに議論することはできません。伝説やメルヒェンといった口承文化、さらには衣食住など日常生活や印刷物、画像、音声などメディア相互の連関も、欠かすことのできない着眼点です。

授業では、まずドイツ語能力をアップし、そのうえで文献を深く読み抜くねばり強い思考力を身に付けます。ネイティブ教員の授業では、実践的なドイツ語力も鍛えられます。研究室メンバーが全員参加し、ディスカッションやプレゼンテーションを重ねて表現力を徹底的に磨く演習も開設。小規模な専修ならではの、ともに学ぶ雰囲気大事にしています。

教員

みたに・けんじ

三谷研爾 教授

よしだ・こうたろう

吉田耕太郎 教授

ヨハネス・ヴァスマー

Johannes Waßmer 特任講師

(常勤)

<https://bit.ly/dokubun-fb> (FB)

何を学んでいるの？

ドイツの文化・芸術

ドイツ文学の歴史を、文化と芸術という切り口から紹介する講義。単なる作品紹介にとどまらず、ドイツ文学の背景にある歴史や文化を、掘り下げる講義です。ドイツ文化って何？と少しでも興味を持ったなら、まず聴講してほしい講義です。

ドイツ語会話

ネイティブ教員によるドイツ語会話の授業です。日常会話はもちろんのこと、研究テーマについての発表やディスカッションにも対応できる実践的な語学能力を身に付けるための授業です。ドイツからの留学生も参加。会話も自然と弾む国際色豊かな授業です。

どんな授業があるの？

[講義題目]

ハイデルベルクの日本人留学者
ツヴァイクとハプスブルク文化

[演習題目]

Kommunikative und
Kulturelle Kompetenz
(ドイツ語会話)

Forschungskolloquium
(研究発表の授業)

18世紀のモード雑誌を読む
マン『トニオ・クレーガー』を読む

教員が選ぶ印象に残った卒業論文

日本における『ハイジ』

—その受容史をめぐる比較文学的研究

野上弥生子(1920)に始まる『ハイジ』翻訳の歴史を、明治以降の児童文学の展開に即してたどった意欲作。野上訳、戦後すぐの竹山道雄訳(1953)、最新の上田真而子訳(2003)をドイツ語原文と丹念に比較して、それぞれの文体と各時代の読者像とを関連づけ、最後はアニメ版『ハイジ』の評価にまでおよぶ分析がスリリングです。(選：三谷研爾 教授)

[卒業論文題目]

絶えず精神的抛り所を求める個人

—レオ・ベルツ『聖ペテロの雪』

ティーク『フランツ・シュテルンバルトの遍歴』
における芸術家像

クララ・シューマンのウィーン滞在(1846-47)

内容の濃い授業をドイツ語で受けられるので刺激になります。 学生インタビュー

独文（ドイツ文学専修）の授業について教えてください。

- ★独文の授業はアットホームですね。授業中も自然と意見を言える雰囲気があります。
- ★文学作品や作家について研究している専攻だと思っていましたが、文学を研究している人は少なく、ドイツやヨーロッパの文化や歴史を中心に、好きなテーマを研究している人が多いことに驚きました。
- ★たしかに大変ですけど、自由に研究できる環境があるのはとてもよかったです。

みなさんは、大学入学後にドイツ語の勉強をはじめたのですよね？

- ★そうです。疑問点や理解できない点を授業の中で発言して、参加者みんなで共有する良いサイクルができていくような気がします。
- ★私も大阪大学に入学してからドイツ語を学びました。ヴァスマー先生の授業も充実しています。ドイツからの留学生も受講して、授業中にドイツ語で会話することも多いので、自然と会話力や作文力がついたように思います。
- ★内容の濃いドイツ文学の授業をドイツ語でしてくれる。ネイティブの先生の授業は刺激になりますね（一同同意）。

その他に、独文のいいところはあるですか？

- ★独文を専攻している学生だけでなく、ドイツ語の文献を読む他専攻の学生がたくさん授業に参加している点も特徴だと思います。
- ★そうそう。いろいろな専攻の人が集まるので、刺激になります。
- ★文学部以外の学生も演習に参加していることにも驚きました。
- ★ドイツ語圏への留学経験者や留学希望者が集まるので、留学についての情報が集まりますね。



提携留学学校のハイデルベルクにあるハイデルベルク城



ドイツのクリスマスマーケット

コロナ関連の規制もなくなり、ドイツ語圏の大学との交換留学も本格的に再開しました。ドイツから大阪大学に留学生が、そして阪大生もドイツ語圏へ留学しています。ドイツ留学していた学生による留学説明会も実施しました。

- ★ドイツへの留学を希望しているので、とても有益な情報が得られたと思います。定期的に開催してほしいです。
- ★私は、ハイデルベルク大学からの留学生とタンデム学習（ドイツ語と日本語を教え合うこと）をしています。
- ★私もタンデムに参加しています。早く留学したいです！

独文での研究はどうです？

- ★ドイツ文学や文学者の研究もできますが、ひろくドイツに関連したことを研究している人が多いと思います。
- ★わたしもそう思います。ドイツ語やドイツ語圏の文化について興味がある人は、ドイツ文学の講義を受講してみることをおすすめします。
- ★ドイツ語を習得するのは、簡単とは言いませんが、でも英語に加えて、もう一つ外国語がマスターできたのは、将来の自分にとってプラスになると思います。ドイツへの留学もとても貴重な経験でした。

では最後に読者の高校生のみさんへひとことお願いします。

- ★研究室訪問や共通教育の授業で、いちど独文の雰囲気に触れて欲しいと思います。
- ★大学の勉強にはたくさんの選択肢がある。求めればとめるだけのことを返してくれる環境だと思います。

